

# 芸亭

vol.15

うん

てい



「本をつくる Vol.2」展示



「本をつくる Vol.2」製本ワークショップにて

## 図書館についての試験問題

奈良県立図書情報館館長 千田 稔

私は、法律について勉強したこともないが、たまたまネットに令和4年の司法試験の問題がひっかかってきた。全くの偶然である。短答式といって、正しいかどうかを問うものである。憲法に関する分野である。

「公立図書館は、住民に対して思想、意見その他の種々の情報を含む図書館資料を提供してその教養を高めること等を目的とする公的な場であり、図書の著者にとっては、その思想、意見等を公衆に伝達する公的な場でもあるから、図書の著者は、公立図書館に対して表現の自由に基づいて自らの著作物を購入し、閲覧に供するよう求めることができる」

常識的に考えて、これは、無理難題を押し付けているように思えるから、間違いであると判断した。確かに正解は[×]である。ただ、法律的に理路整然と、これが間違いであると判断する説明は、なかなかむずかしい。そこで、私はチャットGPTに相談した。「公共図書館に著者が自分の本を買うことを求めてよいか?」と。返答は「一般的に公共図書館は、市民に無料で利用できるように設計されており、著者にとって自分の本を貸し出す場所であるため、著者が自分の本を買うことを求めることは一■」とあって、ついに長考に入り、答えの文章も意味がとりにくく、完全な文章はえられなかった。後は、みなさんにお任せします。

題字：天理大学附属天理図書館蔵「石上宅嗣卿頭彰碑」より

## Contents

巻頭言 図書館についての 試験問題	1
本から始まる	2~5
SNSを通じて	6
新たに開始しました	7
館設備のリニューアル	8
2022年度のイベントと展示	9~12

# 本から始まる

## はじめに

図書館情報館では開館以来、様々な展示・イベントを行ってきました。今年度はとりわけ、改めて本の持つ可能性を感じさせられる展示・イベントを多く開催しました。ブックトーク「火星の読書会 2022」、本を通じて人を知るイベント「BOOK,TRAIL」、本づくりの裏側に迫った「本をつくる Vol.2」。従来の「図書」展示から一步広がった、映画や朗読会などのイベントと組み合わせた展示、マンガや地方出版といった従来の当館とはなじみの薄かった資料を使った展示。以下でご紹介します。

(藤本 明希子)

## 火星の読書会 2022

京都の書店誠光社店主の堀部篤史さんをご案内いただき、全3回のブックトーク形式のイベントを開催しました。今回のイベントでは、本の中で表現されるアートや音楽の描写に注目。それぞれ「ページの中の美術、言葉で編まれたアート」、「紙の音楽、聴こえる読書」、「言語のデザイン、視覚的読書」と題し、活字でそれらを味わう愉しみと不思議について考えました。

イベントでは、紹介していただいた本に関連するアート作品を見てみたり、実際に音楽を聴いてみたりするなど、「読書会」というイベントタイトルから連想されるものとは、一味も二味も異なった体験をすることができました。その様子はnoteでも動画や記事の形で順次発信予定ですので、「本」にはじまり、けれど「文字」だけにとどまらず、「アート」や「音楽」へと世界が広がっていく感覚を少しでも味わっていただけたらと思います。

これからも「読書」という言葉から連想できる枠組みにとらわれることなく、イベントを行っていきます。

(須山 友季)



紹介された本(一部)



イベントの様子



## 本をつくる Vol.2

書籍ができあがるまでのプロセスやその舞台裏を実際の体験として共有しながら、一冊の本をつくることについて考えるシリーズイベント「本をつくる」。第2弾の今回は写真家・吉田亮人編。写真集『Brick Yard』『Tannery』『The Absence of Two』の中から選ばれた写真の大判印刷や、吉田さんと装丁家・矢萩多聞さん製作の写真絵本「はたらく」シリーズの写真などを展示しました。写真絵本「はたらく」シリーズでは、当館司書の1日に密着した『はたらく図書館』の写真も並びました。取材は出勤から退勤まで密着して行われましたが、写真を撮られるタイミングや時折投げかけられる質問を通じて、「作者が本をつくる上で重きを置いていること」を垣間見ることができました。写真のほか、写真集製作時のアイデアノートやダミーブック、「はたらく」「写真集」「本づくり」をテーマにした関連図書も展示しました。



展示の様子



## BOOK,TRAIL

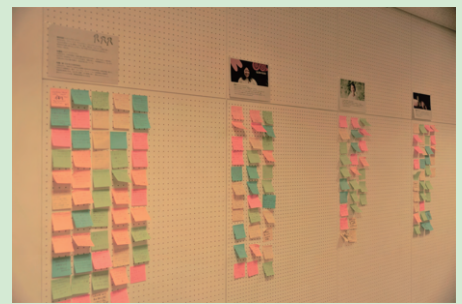
「自分の仕事を考える3日間」「シゴトヒトフォーラム」など、図書館を場として活かし、新たな関わりの機会を生み出してきた西村佳哲さんと友廣裕一さん、当館職員の乾をホストとする実験的な試み「BOOK,TRAIL」がスタートしました。本と人の新たな関わり方を探るべく、“選んだ本からその人の歩みを浮かび上がらせる”ことを目指しました。

Vol.1は「これまでの人生でわけもなく惹かれた本」3冊を、Vol.2では「現在の自分につながる本」「いま読み返したい本」「まだ読んでいないけれど気になる本」の3冊がテーマ。いずれの回も前半はホスト3人がそれぞれの持ち寄った3冊について話し、後半はホスト1人とゲスト1名での対談形式で行われました。参加者には登壇者のトークの間に設けられたトークタイムで、他の参加者と感想を言い合ったり、自分の選んできた3冊を紹介しあったりしていただきました。本に付随して語られる選んだ理由や読んだ時のエピソードから、本と人の両方に大きな興味が寄せられ、見知らぬ人同士でも話が弾んでいる様子が見受けられました。Vol.1でいただいた感想にも、トークタイムがもっと欲しかったというお声が多々あり、Vol.2は大幅に増やされた語らいの時間に大変なご好評をいただきました。

(小出 利恵)

vol.1 ゲスト 石村由起子さん (くるみの木オーナー)  
vol.2 ゲスト 渡邊めぐみさん (Slow Food Nippon 代表理事)  
どいちなつさん (料理家)、星野概念さん (精神科医など)

Vol.1



感じたこと・考えたことを  
付箋に書いて貼ってもらいました



Vol.2



映画上映会のアフタートーク



ブックマーケット



関連イベントも盛り沢山でした。映画「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」上映会と監督の川内有緒さんによるアフタートーク。リトルプレスの本やZINEをつくる書店、ちいさな出版社が「つくる」「はたらく」をテーマにセレクトした本が集結した「本をつくるブックマーケット」に、『はたらく図書館』製本ワークショップ。様々な切り口から「本をつくること」を知り、考える、お祭りのような1か月でした。

(藤本 明希子)

# 本から始まる ( 展示 × X )

## × コンサート バロックダンスからモダンダンスまで～バッハから現代のグルーヴの系譜を読み解く

「ダンス」をキーワードに、バロックダンスから、バレエ、盆踊りや日本舞踊、K-POP まで新旧・国内外を問わず様々なダンスや、ダンス・踊りとは切っても切れない関係にある「音楽」「リズム」にまつわる図書・雑誌を展示しました。関連コンサート「Groovin'B ! (Bach, Baroque) ～石琴で踊る！バッハをダンスミュージックとして再構築する～」も開催し、コンサートで演奏された「バッハ」や使用された楽器「石琴」といったキーワードから、イメージをさらに膨らませていきました。古楽器の「洒濱石琴（しひんせっきん）」とモダン楽器の「ピアノ、パーカッション」がコラボしたコンサートは、思わずリズムを取ってしまう、非常に楽しい時間となりました。

展示とコンサート、双方が響き合い深め合う企画になったのではないかと思います。

(藤本 明希子)



図書展示



コンサート

## × 地方出版

### 本を通して 飛び越える 1200 キロ

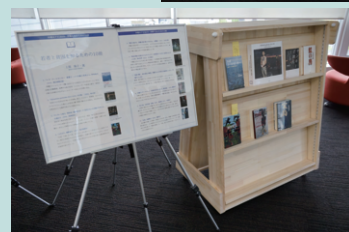
#### ——沖縄本土復帰 50 周年をきっかけに知る沖縄

沖縄の本土復帰 50 年にあわせ、「本を通して 飛び越える 1200 キロ——沖縄本土復帰 50 周年をきっかけに知る沖縄」と題した図書展示を行いました。

沖縄について、戦前・戦後の歴史や現代社会に関する本約 100 冊のほか、沖縄県公文書館や国立公文書館に保存されている、沖縄の本土復帰に関する写真のパネルも展示しました。この展示にあたっては、沖縄県立図書館の「沖縄ナビ」を参考にさせていただき、一部の資料を同館から借用しました。また、沖縄出版協会からも沖縄を知るためにおすすめの本を紹介していただきました。

沖縄県は、沖縄戦、米軍占領から本土復帰までの歴史的経緯もあり小出版社が多く、独自の豊かな出版文化を有しています。沖縄で出版された、沖縄に関する本には、奈良からは見えない視点があり、その一端に触れられる機会となったのではないかと思います。

(松田 志織)



## × 朗読会 体感する詩

多くの情報や文字があふれる現代。語られる言葉に一心に耳を傾けたり、紙に書かれた言葉をじっくり読む時間が減っているのでは？そんな思いから、読み手に解釈の自由があり、読み手のペースで読むことのできる詩をテーマに、図書展示と朗読会を企画しました。

4 人の図書館員がそれぞれの切り口から詩に関する本をセレクトして展示し、一部の詩はパネル化して視覚に訴える形で紹介しました。また、関連イベントの朗読会「星の声をきく」の朗読者である詩人の西尾勝彦さんの詩や関連本もあわせて展示しました。朗読会では、自身の詩や影響を受けた詩人の詩などを朗読していただき、参加者は静かに耳を傾けていました。開催後には、「詩を耳で聞くのは読むのとは違う体験でした」「心地良い時間でした」といった感想が寄せられました。

図書展示コーナーでは目から、朗読会では耳から、詩の言葉の奥深い世界を体感するきっかけを届けることができたのではないかと考えています。

(加藤 由美)

## × 映画

ノーベル文学賞作家 ジョゼ・サラマーゴ生誕 100 年記念図書企画展「ジョゼ・サラマーゴとポルトガルに接近！」

イルゼ・アイヒンガー生誕 100 周年図書企画展「それはイルゼ・アイヒンガーから始まった 1921-2021—  
終末から終末に向かって語る そして現代オーストリア文学に触れる」

どちらの図書企画展もポルトガル、オーストリア両大使館の全面的な協力を得て開催しました。今回は展示だけではなく、作家関連の映画上映会も開催しました。サラマーゴ展では、原作が映画化された「リカルド・レイスの死の年」(ジョアン・ボテーリョ監督/2020年)とドキュメンタリー映像「ジョゼとピラール」を、アイヒンガー展では、作家をテーマにした「私の住む場所—イルゼ・アイヒンガーのための映画」(監督クリスティーネ・ナーゲル/2014年)をそれぞれ上映するとともに、翻訳者の木下真穂さんや渡辺一史さん(ポルトガル大使館)、真道杉さん(日本大学教授)のトークを交え、単なる図書の展示にとどまらない重層的で多様な切り口で展開する図書企画展となりました。

(乾 聡一郎)



「リカルド・レイスの死の年」の一場面



「私の住む場所—  
イルゼ・アイヒンガーのための映画」の一場面

## × 地域史料

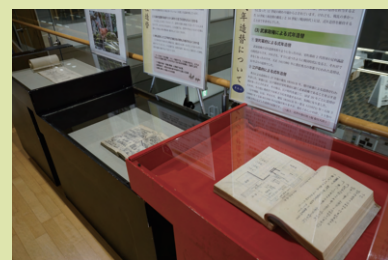
庁中漫録—奈良奉行所の与力、大和のことごとくを書き尽くさんとす—

「庁中漫録」は、奈良奉行所の与力、玉井定時(正保3(1646)年~享保5(1720)年)とその子孫による計79冊の文書群で、当館にはそのうち78冊が寄託されています。これらの文書には、江戸時代前半までの奈良の行政・産業・信仰・風俗・芸能などの多彩な情報が詰まっており、特に江戸時代前半の奈良について調べる時には欠かせない史料とされています。当館では、その「庁中漫録」を翻刻し、発行する事業を行っています。

「庁中漫録」をご紹介する初めての展示となった今回は、普段は書庫で保管されている原本の一部やその関連文書を公開し、その中から、元禄の春日社造替の記事についてご紹介しました。また、この文書群が成立した経緯を、編纂の中心となった玉井定時に焦点をあてて時代背景とともに解説し、あわせて関連図書も展示しました。

これからも、「庁中漫録」に記された様々な興味深いことがらを、ご紹介していければと考えています。

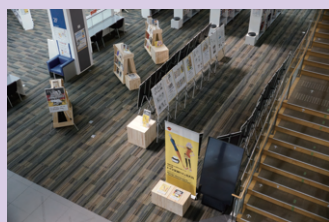
(小林 ひろみ)



ケース内展示



庁中漫録



## × マンガ ドイツをもう少し知ってみよう！

日独交流 160 周年となった 2021 年、これを記念して大阪・神戸ドイツ総領事館主催のマンガコンペ「ドイツ深掘りマンガ大賞」が行われました。当館では、このマンガコンペの受賞作品の紹介パネルと原画を、大阪・神戸ドイツ総領事館の協力を得て展示しました。くわえて、各受賞作品のテーマである「ドイツの歴史」、「日独の文学」、「ドイツ文化」、「ドイツの職人」の4つに関する図書展示「ドイツをもう少し知ってみよう！」を同時開催しました。マンガに関連する展示は 2012 年 3 月に開催した「13 人のドイツ・コミック作家展—オルタナティブから MANGA まで」以来 2 回目です。コンペが現代ドイツやドイツ文化に焦点を当てた作品を対象としていたこともあり、今回の企画が実現しました。現代のドイツやドイツ文化などをより深く知ることのできる展示になったと思います。

(山崎 純)

# SNS を通じて

2021年3月にメディアプラットフォーム note へ記事を初投稿して2年目になります。当初より記事はもとよりマガジン(※)の数も増えて、内容が豊かになってきています。はじめは、テキストおよび静止画のみの記事でしたが、インターネットの記事という特徴を生かして動画を取り入れた記事を投稿することも増えました。例えば、2022年6月1日から7月28日まで開催した「世界のブックデザイン2020-2021」の関連記事では、日本の造本・装幀コンクールの受賞作家でもある出版者 / グラフィックデザイナーの松本久木氏による展示の解説やインタビューの動画をメインとした記事を4回投稿しました。また、定期的に記事「図書館員の気になる一冊」を投稿しています。これは、所蔵している本の中から、図書館員が気になる1冊を紹介し、書影や書誌情報、OPACへのリンクを掲載するものです。くわえて、図書館で広く使われている日本十進分類法をテーマとした記事「本棚を旅する」の投稿もはじめ、より内容が豊かになりました。

当館の note マガジン



note 記事「世界のブックデザイン 2020-2021」

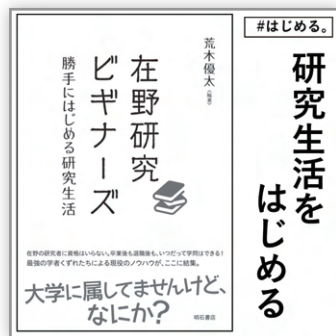
note 記事「図書館員の気になる」一冊



また、画像の発信に長けた SNS である Instagram を活用した新たな試みとして、2023年1月より本の紹介「# はじめる。」を投稿しています。何かをはじめるには絶好の季節に、新しいこと、少し気になることを、「はじめる。」をコンセプトに選んだ本の書影と一言をセットにしたキャプションつきで紹介したところ、たくさんの「いいね」をいただき、手応えを感じています。「はじめる。」の投稿は、全63回になる予定です。

※マガジン…note 記事をまとめて、ブックマーク代わりにしたり、  
テーマに沿って分類したりできる雑誌のような機能です。

(山崎 純)



# 新たに開始しました

## 「公文書館だより」はじまります！

歴史資料を紹介する「公文書館だより」を発行することになりました。

当館では図書・雑誌のほかに、明治維新以前の古文書や絵図、明治時代から現在にいたる公文書など多数の歴史資料を所蔵しています。

これらの資料は当館の公文書・地域研究系の職員が中心となって整理を行っています。歴史資料を直接見て触れて知った魅力を“もっと伝えたい、語りたいたい”ということで、「公文書館だより」を発行することになりました。

当館は奈良県の公文書館でもあります。

国や自治体で作成される公文書は役割を終えると、一定の保存期間を経て廃棄となりますが、歴史的に重要と認められた一部の文書は公文書館で保管されます。

当館は奈良県の公文書館として、毎年保存期間が満了した県の公文書を選別し、歴史的に重要な文書を移管しています。その数は現在約1万8千点。特に当館の前身である旧奈良県立奈良図書館から引き継いだ明治・大正期の公文書は歴史的価値が高く、社寺や鉄道、教育など近代の奈良を知るうえで欠かせない貴重な資料群です。

公文書館だから伝えられる奈良の歴史と文化を紹介していきます。

古文書や絵図は4万点以上



古文書や絵図は温度・湿度が一定に保たれた貴重書庫で保管しています。



貴重書庫▶

奈良県指定文化財「奈良県行政文書」



明治・大正期の公文書(6,695冊)は歴史的な価値が高いことから、平成21年3月に奈良県の文化財に指定されました。

(三原 奈美)

## 電話で貸出中資料への予約ができるようになりました

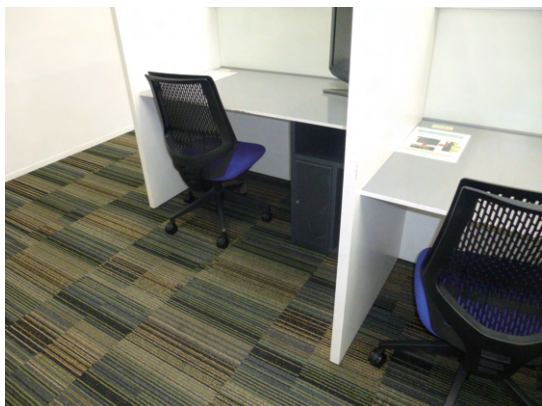
2022年12月1日より、電話での貸出中の図書等への予約申し込みを開始しました。当館の利用登録をされている方が対象で、予約点数は合計10点までとなっています。これまで貸出中の図書等への予約は、来館またはマイライブラリからの受付のみでしたが、今回の取り組みにより、マイライブラリに登録していない方も予約しやすくなりました。来館回数を減らしたい方、スマートフォンやPCなどのインターネット環境をお持ちではない方にも便利に利用していただけます。

(酒匂 嘉子)

# 館設備のリニューアル

## 点字ブロックの修繕

昨年度の1階に続き、傷んできた2階エントランスホール、風除室等の点字ブロックを修繕しました。



## アップコンセントの整理

足元ができるだけフラットになるよう、AVブース、個席等のアップコンセントを撤去、床下のOAタップへ集約する等により、電気配線の整理を行いました。

## 二重サッシ窓の設置

暑さ、寒さの軽減、遮音性を高めることを目的に、交流ホールの窓を改良、3階西側閲覧席上部、点字音声出力装置室、対面読書室の窓を二重サッシにしました。

## 交流ホール AV 設備リニューアル

昨年度に続き、交流ホールのAV設備をリニューアルしました。AVミキサーの更新を行い、マイク、スピーカの音量調整を容易に行えるよう、ケーブルを整理しました。なお、古くなったカセットデッキ、VHSデッキを撤去しました。

## 館内照明のLED化・ボイラー改修

一昨年度から、故障した照明を中心に、館内照明のLED化を進めています。今年度は、トイレ洗面照明の他、機械室、電気室等のバックヤードの照明のLED化を行いました。

また、傷んできた蒸気ボイラー、ボイラーまわりの配管、煙道の改修を行いました。





# 2022年度の イベント 展示

奈良県立図書情報館  
Nara Prefectural Library & Information Center

4月



奈良県立図書情報館2階東側正面入口・常設上映  
2022年4月の作品

映像作家 保山耕一

祈り春

4/1(金)~4/27(木)

1[金]~27[水]映像作家 保山耕一 常設上映『祈り春』

陶芸家 澤田真一展

2022年 4/1(金)~4/17(日)

奈良県立図書情報館2階エントランス

Simple Unique Primitive

1[金]~17[日]陶芸家 澤田真一展 素朴でユニーク、プリミティブ(原始的)な力を宿した、澤田真一の近作である陶芸作品 27点と、初期作品の写真展示を行いました。

奈良県立図書情報館正面前広場

Sakura  
marché

2022年 4/2(土)4/3(日)

各日 10:00~16:00

雨天決行

2[土]3[日]さくらマルシェ 図書情報館前を流れる佐保川の、下長慶橋(奈良市法蓮町)から奈良市杏町(大和郡山市の境付近)までの区間 4.5 キロの両岸には、ソメイヨシノ約 1000 本の桜並木が続いています。美しい景観と、図書情報館に親しみを持っていただきたいとの思いから 2015 年 4 月より「さくらマルシェ」を開催しています。7 回目となる本イベントも大盛況となりました。

5月

松田大児さんのおとなのためののびのび気楽な手作り絵本WS(ワークショップ) season1: 5月~8月・season2: 9月~12月 絵本づくりを通じ、本への親しみと、自由闊達な創作を楽しんでもらいました。

松田大児さんのおとなのためののびのび気楽な手作り絵本WS

2022年度 5月11日(水) 13:30~15:00

会場: 図書情報館1階交流ホール

奈良県立図書情報館 学び直し講座 令和4年度第1期

「私のウクライナ学入門」

開校記念講座

講師 千田稔 奈良県立図書情報館館長

2022年 5月11日(水) 13:30~15:00 (開場 13:00)

会場: 奈良県立図書情報館1階交流ホール  
定員: 100人 (先着順) 要申込 (申込は要)  
観覧料: 500円 (大人、資料代、別途) 主催: 奈良県立図書情報館

11[水]図書館学校 令和4年度第1期開校記念講座「私のウクライナ学入門」<登壇>千田稔 図書情報館長 図書館学校 令和4年度第1期6~7月<講師>国語I 植村正純、社会 今尾文昭、国語II 櫻原聡、理科 井阪秀高

図書館 劇場 XVII

保山耕一 千田稔 都築由美 大宮守友

5月22日(日)

奈良県立図書情報館1階交流ホール

13時開演 16時終了予定(開場12時)

事務担当: 奈良県立図書情報館 4月22日(水) 10時~12時

事務担当: 奈良県立図書情報館 4月22日(水) 10時~12時

22[日]図書館劇場 XVII 第1幕<プログラム> 映像詩 保山耕一(映像作家)講演①「壬申の乱人物志(その1)一天智天皇と大津宮」千田稔(当館館長)、朗読 都築由美(フリーアナウンサー)、講演②「奈良奉行と広域支配」大宮守友(一般財団法人 氷室神社文化興隆財団 代表理事)

6月

1[水]~29[水]映像作家 保山耕一 常設上映『草月』

映像作家 保山耕一

7月

9日[土]図書館寄席 花鹿乃芸亭 第63回<出演>桂文鹿、真山隼人、沢村さくら

花鹿乃芸亭 第六十三回

真山隼人 沢村さくら

13時開演 30分休憩 16時開演

会場: 図書情報館1階交流ホール

24[日]図書館劇場 XVII 第2幕<プログラム> 映像詩 保山耕一、講演①「壬申の乱人物志(その2)一大海人皇子と大友皇子」千田稔、朗読 都築由美、講演②「壬申の乱の地政学」千田稔

7月24日(日)

図書館 劇場 XVII

奈良県立図書情報館

1階交流ホール

8月

7/30[土]~30[火] 映像作家 保山耕一 常設上映『土潤溽暑 つちうるおう てむしあつし』



9[火]~27[土] にっぽんの古墳クッション展 イス張り職人・フクトクニヲさんの手による実在する古墳を模したクッション約70基を展示

27[土] 夏休みこども工作教室「磁石で遊ぼう」日本弁理士会関西会奈良地区会



9月

奈良県立図書館情報誌 学び直し講座 令和4年度第2期

## 図書館学校

開校記念講座 「歴史と地理のアートな世界 画家フェルメールの時代」

講師 千田稔 奈良県立図書館情報館長

2022年 9月9日[金] 13:30~15:00 (開場 13:00)

■場所：奈良県立図書館情報誌1階交流ホール  
■定員：100人 (先着順) ■観覧料：自由(無料)  
■観覧料：500円 (1人、前席、後席) ■主催：奈良県立図書館情報誌

9[金] 図書館学校 令和4年度第2期開校記念講座「歴史と地理のアートな世界 画家フェルメールの時代」<登壇>千田稔 図書館情報館長

奈良県立図書館情報誌 学び直し講座 令和4年度第2期

## 図書館学校

講師 植村正純、社会 今尾文昭、国語II 橋原聡、理科 井阪秀高

■場所：奈良県立図書館情報誌1階交流ホール 9月9日(土)13:30~15:00  
■定員：100人 (先着順) ■観覧料：無料(1部) 500円(2部、3部)  
■主催：奈良県立図書館情報誌

図書館学校 令和4年度第2期9~11月<講師>国語I 植村正純、社会 今尾文昭、国語II 橋原聡、理科 井阪秀高

10日[土] 図書館寄席 花鹿乃芸亭 第64回<出演>桂文麿、桂まん我、桂福留



9月25日[日] 図書館劇場 XVII

保山耕一 千田稔 朗読 都築由美 寺沢薫

9月25日[日] 奈良県立図書館情報誌1階交流ホール

25[日] 図書館劇場 XVII 第3幕 <プログラム>映像詩 保山耕一、講演 ①「壬申の乱人物志(その3) 一乱を見つめた女人たち」千田稔、朗読 都築由美、講演②「この国の誕生と“かたち”-弥生国家論の試み-」寺沢薫 (桜井市継向学研究所センター所長)

10月

秋みのリョマルシェ

10月8日(土) 10月9日(日)

奈良県立図書館情報誌 学び直し講座 令和4年度第2期

8[土]9[日] 秋、みのりのマルシェ 実りの秋にふさわしい、おいしいお店、手作りのクラフトのお店が集まりました。

なら・図書館に集う会 講演会

二十一年に一度 大和の総鎮守 春日若宮御造替

講演 春日大社 宮司 花山院 弘匡 氏

令和4年 10月8日(土) 10時30分から12時(開場10時)

奈良県立図書館情報誌1階交流ホール 定員100人 入場無料

9月17日(土) 9時より申込受付開始

主催 なら・図書館に集う会 共催 奈良県立図書館情報誌

8[土]「二十一年に一度大和の総鎮守 春日若宮御造替」<登壇>春日大社宮司 花山院 弘匡 主催：なら・図書館に集う会

11月

奈良県立図書館情報誌 二階大和五右衛門入口・常設上映

映像作家 保山耕一 映像詩「奈良、時の字」2022年11月の作品

## 雲の河、雲の海

2022.10/29[土]~11/29[火]

10/29[土]~11/29[日] 映像作家 保山耕一 常設上映『雲の河、雲の海』

図書館寄席2022 第六十五回

## 花鹿乃芸亭

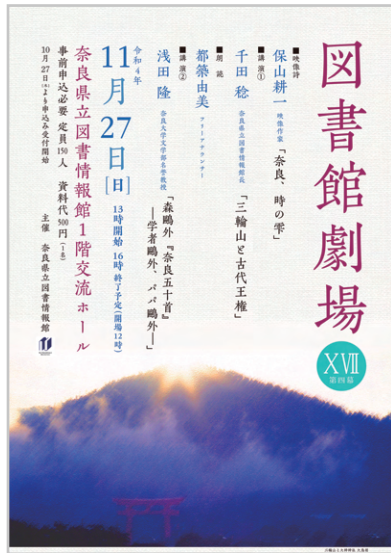
〜鉄道落語と鉄道の世界〜

13日(土) 11月12日(土) 10時30分

第65回 10月18日(火) 9:00より申込開始

桂文麿 桂まん我 桂福留

12日[土] 図書館寄席 花鹿乃芸亭 第65回〜鉄道落語と鉄道の世界〜<出演>桂文麿、桂まん我、桂福留、服部信一、武部宏明



27[日] 図書館劇場 XVII 第4幕 <プログラム> 映像詩 保山耕一、講演①「三輪山と古代王権」千田稔、朗読 都築由美、講演②「森鷗外『奈良五十首』一学者鷗外、ババ鷗外」浅田隆 (奈良大学文学部名誉教授)

12月

1[木]～27[火] 映像作家 保山耕一 常設上映『映像詩、山の辺の道(秋)』



**令和4年度 千田館長 読書相談会**

歴史地理学を専門とする千田館長が直接カウンターにつき、利用者から寄せられた読書相談にお答えします。

申込み制 5名様 (申込多数の場合は抽選)

開催日時(予定) 第48回 12月25日(日) 第49回 2月25日(日) 各日 13:00～16:00

会場 奈良県立図書館3階 調べ物・本の相談カウンターにて

申込方法 (1)メールフォーム (2)図書館ウェブサイト (3)FAX (0742-342777) (4)来館による申込み(カウンター設置チラシに記入) (5)お電話予約(住所・氏名・電話番号・FAX番号・質問内容を記入し、「千田館長読書相談会」と題して下さい。申込みから一週間以内に、申込書の返信をお送りして頂けない場合、お手数ですが図書館へ電話(0742-342777)までお問い合わせ下さい。)

相談日の1か月前からの週の土日曜日まで (詳しくは、図書館のホームページ、館内のポスター、チラシでご案内します)

5[日] 第48回・第49回 2/25[土] 千田館長読書相談会 千田館長が直接カウンターにつき、一般利用者の質問や読書相談に対し、図書館情報館の資料を使って回答するとともに関連文献の紹介を行いました。

25[日] 六斎念仏 実演と講演 出演：大宝寺六斎講、八島延講、東佐味六斎講 講演：「六斎念仏その歴史と展開」山中崇裕 天台宗典編纂所 ※延期開催



1月

5[木]～29[日] 映像作家 保山耕一 常設上映『時の陰翳』



奈良県立図書館 2022年度 子どもの能楽教室 能楽のお囃子「大鼓」のお稽古をしてみよう。

講師 能楽家 森田法雄 方 森田啓子 能楽家 世流 大鼓方 森山泰幸

参加無料 先着順 定員各10人 9月6日(水)まで受付開始

14[土] 2022年度 子どもの能楽教室 能楽のお囃子「大鼓(おおつづみ)」のお稽古をしてみよう～発表会

プロの能楽師が、囃子の道具「大鼓」の稽古を行う教室。9月から2回のお稽古に励んだ成果を子ども達が発表しました。

21[土] 図書館寄席 花鹿乃芸亭 第66回 <出演>桂文鹿、桂雀五郎、桂三実



17[火]～29[日] 「今昔写真 WEB で見る 奈良 150年(近代化と文化の発展)」& 写真展「それぞれの視点VI」 図書館 IT サポートズ・メンバーによる企画展。



図書館 XVII 第5幕 <プログラム> 映像詩 保山耕一、講演①「唐長安城と遣唐使」千田稔、朗読 都築由美、講演②「造幣局 150年の歩みと大和の古墳—創業者たちの群像と偉才のお雇い外国人—」百嶋 計

1月22日(日) 13:00 16:00 千代田ホール

事前申込必要 定員19人 資料代(借門)と 主催 奈良県立図書館 主協賛 奈良大学文学部

22[日] 図書館劇場 XVII 第5幕 <プログラム> 映像詩 保山耕一、講演①「唐長安城と遣唐使」千田稔、朗読 都築由美、講演②「造幣局 150年の歩みと大和の古墳—創業者たちの群像と偉才のお雇い外国人—」百嶋 計 (追手門学院大学経営学部経営学科教授)

2月

1[水]～26[日] 映像作家 保山耕一 常設上映『有明の月』



14[火]～26[日] 手作り絵本 作品展 身近な素材を使って、ストーリー作りから作画、製本までを、それぞれがたった一人で手がけた「世界に一冊の」絵本展



奈良県立図書館 学び直し講座 令和4年度第3期

# 図書館学校

開校記念講座  
「日本神話と絵画表現」  
千田 稔 奈良県立図書館長

2023年  
2月14日[火] 13:30~15:00 (開場13:00)

■場所：奈良県立図書館1階交流ホール  
■定員：100人 (先着順) ■要申込 ■申込先：(申込書あり)  
■費料：500円 (1人、資料代、当日) ■主催：奈良県立図書館

奈良県立図書館 学び直し講座

# 図書館学校

令和4年度第3期

国語Ⅰ	社会
<p>多岐な視点から学ぶ</p> <p>講師：村正 真規</p> <p>3月9日[日] 10:00~11:30 (開場9:30)</p> <p>3月16日[日] 10:00~11:30 (開場9:30)</p> <p>3月23日[日] 10:00~11:30 (開場9:30)</p>	<p>高校の卒業生が学ぶ</p> <p>講師：今野 友典</p> <p>2月26日[日] 13:00~16:00 (開場12:00)</p> <p>3月6日[土] 13:00~16:00 (開場12:00)</p> <p>3月13日[土] 13:00~16:00 (開場12:00)</p>
国語Ⅱ	理科
<p>習字家の指導</p> <p>講師：藤原 美穂</p> <p>2月15日[日] 10:00~11:30 (開場9:30)</p> <p>2月22日[日] 10:00~11:30 (開場9:30)</p> <p>3月1日[日] 10:00~11:30 (開場9:30)</p> <p>3月8日[日] 10:00~11:30 (開場9:30)</p>	<p>専門知識を学ぶ</p> <p>講師：伊藤 真由</p> <p>2月16日[日] 10:00~11:30 (開場9:30)</p> <p>2月22日[日] 10:00~11:30 (開場9:30)</p> <p>3月2日[日] 10:00~11:30 (開場9:30)</p>

■場所：奈良県立図書館1階交流ホール  
■定員：100人 (先着順) ■要申込 ■申込先：(申込書あり) 1日3回500円 (1人、当日)  
主催：奈良県立図書館

14[火] 図書館学校 令和4年度第3期開校記念講座「日本神話と絵画表現」<講師>千田 稔 図書館長  
図書館学校 令和4年度第3期2-3月<講師>国語Ⅰ 植村正純、社会 今尾文昭、国語Ⅱ 樺原聡、理科 井阪秀高

## 3月

4[土] 図書館寄席 花鹿乃芸亭 第67回 落語と仏教を語る<出演>桂文鹿、桂白鹿、露の団娘

図書館寄席2022 第六十七回

# 花鹿乃芸亭

落語と仏教を語る

桂文鹿 桂白鹿 露の団娘

13日(土) 18:24(入) 9:00(開)

26[日] 図書館劇場 XVII 第6幕 通算100回記念

# 図書館劇場

3月26日[日] 13:00~16:00 (開場12:00)

1階交流ホール

通算100回!!

「お嬢い 井上洋一」  
「河内王権論について考える」  
「お嬢い 井上洋一」  
「お嬢い 井上洋一」

26[日] 図書館劇場 XVII 第6幕 通算100回記念  
<プログラム>映像詩 保山耕一、講演①「河内王権論について考える」千田稔、朗読 都築由美、講演②「お嬢い 井上洋一」奈良国立博物館館長  
平成17年の開館時から続く図書館劇場が、通算100回目の開催を迎えました。

## 通年

佐保川まちづくり塾 2022年度パソコン教室 共催：奈良県立図書館、NPO法人奈良ニアIT振興会

2022年度パソコン教室 受講生募集

講座名	開催日時	講師
パソコン入門	2月16日(日) 13:00~16:00	伊藤 真由
ワープロ基礎	2月22日(日) 13:00~16:00	伊藤 真由
インターネット活用	3月1日(日) 13:00~16:00	伊藤 真由
スマホ活用	3月8日(日) 13:00~16:00	伊藤 真由

ITサポート日 図書館のIT機器利用への質問や、パソコンビギナーの操作への疑問に、ボランティアスタッフ「奈良県立図書館 IT サポーター」がお答えします。参加&相談無料。

法務無料相談会&知識セミナー 毎月1回開催。相続・遺言など法律相談として興味を集める事例をテーマに知識セミナーを開催。参加&相談無料。主催：なら労務法務研究会

2023年 2/12日

13:30~17:00 (開場13:00)

# 法務無料相談会 & 知識セミナー

13:30~15:00 (開場13:00) 知識セミナー  
2月12日(土) 13:30~17:00 (開場13:00) 無料相談会

知的財産講座&無料相談会 著作権、特許の登録申請等、知的財産に関する講座と、弁理士が対応する無料相談会を6、8、10、12、月に開催しました。参加&相談無料。主催：日本弁理士会関西会奈良地区会

知的財産講座 & 無料相談会

2023年 12月10日(土) 13:30~15:00 (開場13:00)

無料相談会

大安寺歴史講座 南都七大寺の一つ「大安寺」による歴史講座。2022年度 ver.13は大西和彦(一般財団法人アジア国際交流奨学財団日本語研究員)、ver.14は西本昌弘(関西大学教授)を講師を迎えて開催。

大安寺歴史講座

講師：西本 昌弘 先生 (関西大学教授) Ver.14

2023年 2月15日(土) 13:00~15:00 (開場12:30)

中小企業診断士による体験学習会&無料経営相談会 体験学習会では、問題分析や解決の手法などについてレクチャー。2022年度は主に女性、若者向けの起業に関する内容で5、6、7、11、12、1月に開催。1月には奈良にゆかりのある女性起業家を迎えてトークイベントと参加者同士の交流会を開催。参加&相談無料。主催：中小企業診断士会

中小企業診断士による体験学習会&無料経営相談会

2023年 1月12日(土) 13:00~15:00 (開場12:30)

起業家ニ交流会

2023.1.15 Sun

13:00~15:00

FP(ファイナンシャル・プランナー)によるくらしとお金のセミナー 家計の改善を図る「家計のホームドクター」とも呼ばれているFPによる講座。今年度は9、12、3月に開催しました。参加無料。主催：日本FP協会奈良支部

FP(ファイナンシャル・プランナー)によるくらしとお金のセミナー

人生100年時代! リタイアメント7つの確針型

9月17日(土) 13:30~15:00

(文中敬称略)

(大西 評)